

# 復興に向けた道のり

住まいの再建に大変時間がかかっている、被災者は復興のスピードに多くの不安をかかえたまま、5度目の冬を迎えようとしています。避難者数と、住居確保について振り返ってみましょう。

	2011, 3~	2012, 3~	2013, 3~	2014, 3~	2015, 11
避難者	避難所解説・仮設住宅建設・仮設環境整備			自立再建、災害公営住宅建設	
避難者数	47万人	34万人	30.9万人	26.4万人	19.5万人
公営住宅 着手・完成	災害公営住宅建設開始 着手 45% → 着手 65% → 着手 94% 完成 9%                      完成 36%				

災害公営住宅建設の遅れは重大問題です。完成がいまだに4割にも到達していません。被災地訪問で、仮設住宅から、災害公営住宅への移転の難しさをお聞きしています。「建設の遅れに建設労働者の不足や、資材不足・費用の高騰が影響している。それは、被災地復興以外の公共事業の増加が原因だ。」と言われていました。今後も、優先順位を見誤ることがないことを願うばかりです。

## 福島と原発再稼働

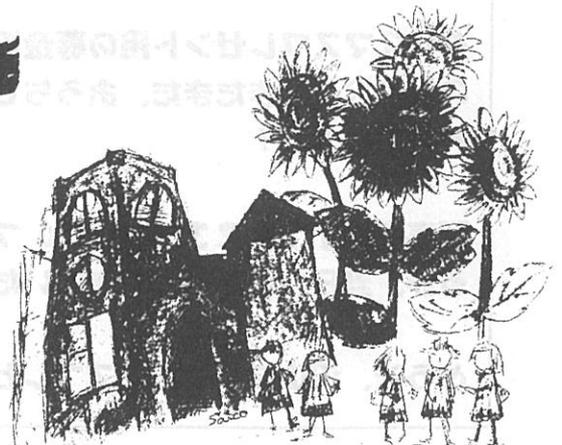
福島県民の県内外避難者数(自主避難を含む)は10万5255人。そのうち4万4094人が、県外避難者。避難先は東京都が一番多くて5888人で、次いで埼玉県が4745人、新潟県が3580人、茨城県が3522人、山形県が3304人です。避難者の中には原発事故で古里に帰れない人々が多くいます。また、原発事故処理に当たる作業員の被曝も目が離せない事態を招いています。

一方で、国内の原子力発電所は、稼働ゼロから再稼働へと動き出しています。鹿児島県の川内原発をはじめ、愛媛県の伊方原発3号機は、知事が再稼働に同意し、来春以降の再稼働が見込まれています。今月8日には、重大事故を想定した避難訓練が行われました。新潟県の柏崎刈羽原発も、再稼働に向けての準備が行われているとの地元住民の声も報道されています。

「原発安全神話が崩壊した」と言われてまだ5年もたっていない今、福島の現実と重ねながら原発稼働の賛否について考えてほしいと思います。

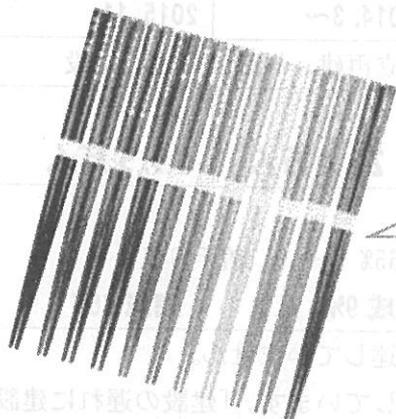
## 祈りの向日葵

先月種取りの作業を終え、今年も「祈りの向日葵」の種を広げる活動が始まりました。今年の種が、今夏さまざまな場所で花を咲かせていました。来夏の広がりに復興への願いを託しながら種を植えてくださる人を募ります。

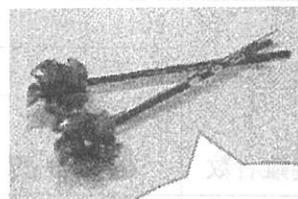


# クリスマスプレゼント募金協力お願いします！

被災者の方々へささやかでも、心のこもったクリスマスプレゼントをお届けするために、今月も23日に京都府立植物園で開催される KYO フェスタに参加し、物品の販売や募金活動を行います。みなさんにも、11円募金以外にもクリスマス募金や、物品の購入にご協力いただければ嬉しいです。色々販売しますのでよろしくお願い致します。

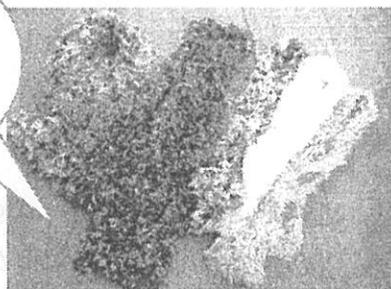


心のはしわたしに  
ちなんで前回好評  
**お箸**の販売



かわいい  
ヘアピン各種

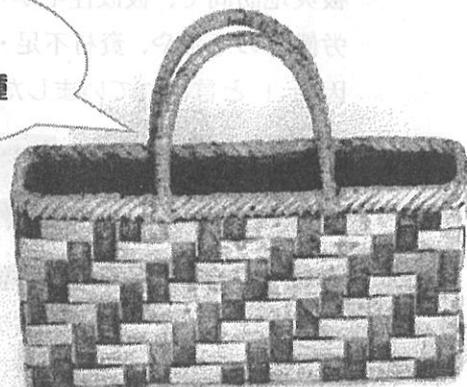
手編み  
マフラー



手編みバックや  
収納ボックス各種



三陸産茎  
わかめの柴漬



## 販売品の持ち込み大歓迎

クリスマスプレゼント用の募金協力として、皆さんの手作り品の提供や、お店経営の方々商品の提供など、またまた、おうちで使わない品物など(未使用分)の提供でご協力いただける方を大募集します！

販売日は11月23日(祝) KYO フェスタ会場で行います。前々日まで学校に持ち込んでくださるか、当日会場に持ってきていただいても大丈夫です。食品もご相談させていただきます。

どうぞ、沢山のクリスマスプレゼントを被災地に贈るためにご協力下さい！